**第２学年　バレーボール指導案**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　甲府市立南中学校

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　授業者　落　合　浩　美

１　単元名　球技E　ネット型：バレーボール（中学校２学年）

２　単元の目標

　（１）バレーボールの特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力を理解させるとともに，ボールの操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所の攻防をすることができるようにする。（知識及び技能）

（２）攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けた運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。（思考力，判断力，表現力等）

（３）バレーボールの学習に積極的に取り組むとともに，作戦などの話合いに参加し貢献したり，フェアプレイを守ったりして，仲間と助け合いながら運動できるようにする。（学びに向かう力，人間性等）

３　指導内容と評価規準

（指導内容）球技について，次の事項を身に付けることができるように指導する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識及び技能 | 思考力・判断力・表現力等 | 学びに向かう力・人間性等 |
| （１）バレーボールの特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力を理解させるとともに，ボールの操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所の攻防をすることができるようにすること。 | （２）攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けた運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにすること。 | （３）バレーボールの学習に積極的に取り組むとともに，作戦などの話合いに参加し貢献したり，フェアプレイを守ったりして，仲間と助け合いながら運動できるようにすること。 |

（単元の評価規準）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 知識及び技能 | | 思考，判断，表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 知識 | 技能 |
| ①バレーボールにおいて用いられている技術，作戦には名称があり，それらを身に付けるためのポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。 | ①ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。  ②ラリーの中で，ボールの動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。 | ①自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について，自己の考えを伝えている。  ②体力や技能の程度，性別等の違いに配慮して，仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 | ①一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。  ②互いに練習相手になったり仲間に助言したりして，互いに助け合い教え合おうとしている。 |

４　指導と評価の計画

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 知識及び技能 | | | バレーボールの特性や成り立ち，技術の名称や行い方，その運動に関連して高まる体力を理解させるとともに，ボールの操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所の攻防をすることができるようにする。 | | | | | | | | |
| 思考力，判断力表現力等 | | | 攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けた運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 | | | | | | | | |
| 学びに向かう力人間性等 | | | バレーボールの学習に積極的に取り組むとともに，作戦などの話合いに参加し貢献したり，フェアプレイを守ったりして，仲間と助け合いながら運動できるようにする。 | | | | | | | | |
|  |  | 1 | 2 | 3 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 学習の流れ | ０  １０  ２０  ３０  ４０  ５０ | トレーニング・準備体操・挨拶・健康観察・本時の目標の確認  オリエンテーション  オーバーハンドパス・アンダーハンドパスの反復練習  **基本的なボール操作**  **・キャッチボール**  **・オーバーハンドパス・アンダーハンドパス**  **・２人組・３人組**  **・サーブ**  **・スパイク**  **リーグ戦Ⅰ**  **空いた場所を巡る攻防の展開**  **三段攻撃**  **カバー（助け合いの練習）**  **２対２**  **３対３**  **４対４**  **単元の**  **まとめ**  **人数・コート・ルール等の**  **簡易化ゲーム**  **ラリーゲーム**  学習カードへの記入　振り返り　まとめ  簡易ゲーム | | | | | | | | | | | |
| 評価機会 |  | 1 | 2 | 3 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | ９ | 10 |  |
| 知 | ❶ |  |  | |  |  |  |  |  |  | 総括的な評価 |
| 技 |  | ❶ |  | |  | ❷ |  | ① |  | ② |
| 思 |  | ❶① |  | |  |  | ❷② |  | ② |  |
| 態 | ❶ |  | ❷ | |  |  |  |  | ② |  |
| 単元の評価規準 | 知 | ①バレーボールにおいて用いられている技術，作戦には名称がありそれらを身に付けるためのポイントがあることについて，学習した具体例を挙げている。 | | | | | | | | | | | |
| 技 | ①ボールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すことができる。  ②ラリーの中で，ボールの動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。 | | | | | | | | | | | |
| 思 | ①自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について，自己の考えを伝えている。  ②体力や技能の程度，性別等の違いに配慮して，仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 | | | | | | | | | | | |
| 態 | ①一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。  ②互いに練習相手になったり仲間に助言したりして，互いに助け合い教え合おうとしている。 | | | | | | | | | | | |

白抜き数字（❶）は，重点的な指導時期および指導の開始時期，丸数字（①）は評価の機会

５　本時の展開（７／１０時間）

（１）本時の目標

　・仲間と助け合い，空いている場所を見つけ，返すことができるようにする。（知識・技能）

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 学習内容・活動 | 評価方法及び評価規準 |
| は  じ  め  ５分 | １　トレーニング，準備運動を行う。  体育館７周，補強（腹筋・背筋・腕立て），体操  ２　集合，あいさつ，健康観察を行う。  ３　本時のめあての確認を行う。 | ・本時の学習内容を伝えるとともに，前回の学習カードを見て課題や質問について確認させる。  ・本時のめあてから見通しを明確に持たせる  ねらい：相手のコートから，空いている場所を見つけ，ねらって返せるようになろう |
| な  か  ３５分 | ４　ねらった場所へ返す練習その①   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | A | B | A | B | A | B | | C | D | C | D | C | D | |  |  |  |  |  |  | | ③ ②  ① | ② ③  ① | ③ ②  ① | ② ③  ① | ③ ②  ① | ② ③  ① |   　①②③　　　　　①②③　　　　　①②③  ・コートに入る人３人，ボールを投げ入れる人１人，どこに返すか指示を出す人1人に役割分担する。画像を撮る人１人に役割分担する。次にコートに入る３人は，後ろで待っている。  　・チームごとコートを縦に半分に使う。  　・ネットを挟んで反対側のコートのABCDの  ４ヶ所をねらって２回または３回で返す。  　・三段攻撃で，スパイクを打って返しても，パ  スで返してもどちらでもよい。  　・A→B→C→Dと順番にねらって返す。  　・ネットを挟んで相手コート側から投げてスタ  ートとする。  　・次にコートに入る３人は，作戦会議をして  おく。（①②③のどこに入るか決めておく）  ・４本で交代する。  ○ねらった場所へ返す練習その②    ①②③←どこを空けるか作戦を立てておく→①②③   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | A | B | A | B | A | B | | C | D | C | D | C | D | |  |  |  |  |  |  | |  | | ③ ②  ① | ③ ②  ① |  | | | ③　　②  　　① | | ③　　②  　　① | |   メイン練習用コート↑　　　　↑練習用コート　　　　　↑メイン練習用コート  　（例）   |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | A① | B② | A | B | A | B① | | C③ | D | C | D | C③ | D② | |  |  |  |  |  |  | |  | | ③ ②  ① | ③ ②  ① |  | | | ③　　②  　　① | | ③　　②  　　① | |   メイン練習用コート↑　　　　↑練習用コート　　　　　↑メイン練習用コート   |  | | --- | | **・ICT機器を使い自分達の練習を確認する。** |   ・自分達のゲームをchromebookで確認する。  ①ねらった場所へ返すことができるか。  ②空いている場所を見つけて返すことができているか。確認するための材料とする。 | （観察評価）  ○パスやスパイクを用いてねらった方向に返球できているか。  ・そのときにカバーの動きも意識させる。  ◎練習の際に,生徒の具体的な学びの姿から,実現状況を判断する。  　・ねらいが高まるような球出し等の援助の姿  　・仲間との連帯感が高まるような助言の姿  ●努力を要する状況の生徒への手立て  ・個別に声をかけたり,仲の良いメンバーから話しをして協力することの大切さを理解させる。  ・「今日の課題が達成できるようなアドバイスを送ろう。」など声かけを行う。  ・手の角度（面）・正対しているか・ボールの落下点に入っているかなど気づいたことをお互いに声かけを行う。  ・誰がとるかわからない時には名前を呼ぶなど声かけをすることに気づかせる。  ・今日の学習課題の解決につながるような助言をしている姿   |  | | --- | | 評価：空いている場所を見付け，ねらって返すことができる。【知識・技能】 |   ●努力を要する状況の生徒への手立て  ・個別に声をかけ,仲間に助言することの価値を理解させる。（自己の能力が高まること）  ・「どんなアドバイスをしたら,空いている場所をねらうことができるかを考えて助言しよう」などの声かけを行う。  ・ボールに触っていない時の動きはどうなっているか。正対しているか，準備ができているかなどのアドバイスをする。  ・「だめ出しではなく，「こうしたらいいよ」等の肯定的な言葉を使おう」  ・優しい言葉を使おう  ・仲間のアドバイスは，素直に受け止めよう。  ・相手のコートの開いているところを見付けて，仲間に教えてあげるよう声かけをする。  ねらった場所へ返す練習その②  ・コートに入る人３人，ボールを投げ入れる人  １人，反対側コートに３人，画像を撮る人１人  に役割分担をする。  ・「せーの」などの声に合わせてボールを投げ，同  時に３人が動き，１ヶ所空いている場所を作る。  ・反対側コートに入る３人は，どこを空けるか  作戦を考えておく。  ・メイン練習用コートを使うのは，１チームで，空  いている２チームは，真ん中の練習用コートで練  習をする。メイン練習用コートを使った後，画像を  見ながら課題を見付ける。  　・５分間練習したら交代する。  ・３回目でスパイクを打って返しても，パスで返してもどちらでもよい。 |
| ま  と  め  １０分 | ６　本時の振り返りと課題の設定  ・授業カードに自己評価と次時の課題を記入する。  ・次時の学習内容の確認，あいさつ。 | ・本時の学習への取り組み状況や課題の達成状況について的確に振り返りをさせる。  ・今日の内容が次回からのゲームで生かせるよう助言する。 |